

12月に入って急に寒さが増し、体調を崩してしまったおともだちもチラホラ…。周りも師走らしくバタバタ…。そんななかぞうぐみさんは、お茶のおけいこで“心静まる時間”を過ごすことができました。

今月もまた、自分達で“お茶を点てる”経験をさせてもらいました。

2回目ということで、点てる側はどこか得意げで、頂く側もみんな残さず飲んでいましたよ。

次回は、ぞうぐみさん全員そろっての初釜お茶会となります。

12月のお菓子



・ゆきわ

・クリスマス
(数種類あり)

12月のお花



・小菊



「おけいこ始めます」



まずはお道具の名前を確認



帛紗をつけて準備
します



「もう少し力をぬいて…」
「細かい泡がたつてくるとおいしいお茶になりますよ」と
先生からアドバイスをもらって、**シャカシャカシャカ**



上手にできました



お菓子の取り方も
上手になりました



右手で、お茶碗をへり
の内側に取り入れます



きれいな姿勢で
ゴク・ゴク・ゴク



飲み終えたお茶碗は
こんなにキレイ！

お茶碗について

茶道の道具のなかでも大切なお茶を飲むための器です。

楽焼らくやきや萩焼はぎやき、唐津焼からつやき、京焼きょうやきなど各地の焼き物があります。ぞうぐみさんが絵付けするのは、奈良あかほだやきの赤膚焼です。

焼き物には陶器と磁器があり、造り方が違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は、低い温度でゆっくり焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞうぐみさんのお茶碗は陶器で扱いに気をつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切なものを丁寧に扱う大事さを学習するよい機会でもありますね。